



NHK キャンペーン《災害列島 生きるスキル》

12月に体感・首都直下地震ウィーク

《災害列島 生きるスキル》は、災害の脅威を番組やデジタルコンテンツ、イベントを通じて体感してもらい、防災減災の必要性を「自分ごと」としてとらえていただくことを目指すNHK 発の大型キャンペーンです。被災地の方々の経験や、各地で生み出された防災アイデアなど、防災減災に役立つ「生きるスキル」を日本全国に発信し、皆さんとシェアしていく取り組みも同時に行っています。

いつ襲ってくるか分からない自然災害—「ひとりでも多くの命を守るために何ができるのか？」キャンペーンは2019年9月1日から2021年3月11日まで、2020東京オリンピック・パラリンピックをはさんで、1年半に渡って続きます。

2019年のキャンペーンテーマは首都直下地震。12月1日から8日までを“体感・首都直下地震ウィーク”としてNHKスペシャル計7本などを集中編成。M7.3の直下地震に襲われた首都圏の姿を、VFXを駆使して映像化するドラマ「パラレル東京」をメインコンテンツとして、番組、デジタル、イベントを組み合わせた多様なサービスを展開します。

(以下、タイトルは全て仮題です)

NHK スペシャル 7本の集中編成

総合 NHK スペシャル・シリーズ「体感・首都直下地震」全7回

※NHK スペシャル7本の集中編成は初の取り組み

12月1日(日) 午後9時 「プロローグ」

体感・首都直下地震ウィークのプロローグ。死者最大約2万3千人、全壊・焼失家屋61万棟、要救助者7万2千人…。首都直下地震で想定される被害の全貌を、内閣府作成の被害想定に最新の研究成果を加えて紹介します。

12月2日(月) 午後7時30分 ドラマ「パラレル東京 DAY1」

12月3日(火) 午後10時 ドラマ「パラレル東京 DAY2」

12月4日(水) 午後10時 ドラマ「パラレル東京 DAY3」

12月5日(木) 午後10時 ドラマ「パラレル東京 DAY4」

首都直下地震が12月2日に発災したという想定で、発災当日、2日目、3日目、4日目の被害の状況を、VFXを駆使したドラマ「パラレル東京」で紹介。さらに、なぜこうした被害が発生するのかを生放送のスタジオで詳しく解説していきます。

※ドラマ「パラレル東京」の舞台は、被災した架空のテレビ局のニュースセンター。次々と入る被害の映像と情報に翻弄される新米ニュースキャスターを女優の小芝風花さんが演じます。

1 2月7日（土）午後9時 「終わりの見えない被災」

地震発生から1週間後、1か月後、1年後、10年後、首都東京や日本はどうなるのか。社会は？経済は？火災や倒壊といった直接的な被害をまぬかれたとしても、その後も続いていく深刻な二次被害の詳細を見ていきます。

1 2月8日（日）午後9時10分「災害に耐える社会をつくる」

30年以内70%という高い確率で発生するとされる首都直下地震。平時のいま、命や財産を守るために何をすべきなのか？どこから手をつければいいのか分からないという多くの視聴者の疑問に応えながら、災害に耐える社会をどうつくっていけばいいのか考えます。

一緒に体感する番組 ラインナップ

「体感・首都直下地震ウイーク」には、災害を生き抜くノウハウを学ぶ番組やニュース企画など、関連番組も編成。NHK ラジオでも防災特集を放送していく予定です。各地の自治体や防災に力を入れている団体、デジタルメディアなどと連携し“番組連動の防災訓練”への参加など、さまざまな形での連携を模索。放送でも紹介しながら、最新の防災情報や皆さんの防災アイデアを共有する取り組みを進めていきます。

総合 防災ノウハウ伝えるシリーズ「生きるスキル」〈全4回〉

1 2月3日（火）午後11時「大火災を生き抜く」

1 2月4日（水）午後11時「揺れに備えろ」

1 2月5日（木）午後11時「孤立の中で」

1 2月6日（金）午後10時50分「パラレル東京に参加してみた！」

※3日～5日は20分、6日は30分間の放送。

総合 インターローカル特集「巨大地震 あなたの街の“地域リスク”」

1 2月6日（金）午後7時30分（※一部地域）

この日は、各地の視聴者のみなさまに、地震を「自分ごと」として捉えてもらうために、地域放送局が連携し、それぞれの地域の地震に迫ります。キーワードは「地域リスク」。震度や津波到達の時間や高さに加え、高齢化率や人口密度、時間帯などさまざまな要素が被害を左右します。さまざまな場所に住み、家族構成も異なる視聴者の関心に応えます。

総合 あさいち、ごごナマ ほか
12月2日（月）～6日（金）

NHK スペシャルと連動して、多くの人に参加できる“番組連動の防災訓練”への参加をよびかけます。地震がおきたとき自分だったらどうするか。想像して共に考えることで、より防災へ関心をもってもらうことをねらいます。「あさいち」では防災訓練の様子を中継でつないだり、身を守るための知恵を放送。さらに、「ごごナマ」などの番組でも、防災に関連した情報をとりあげていきます。

多彩な WEB 展開

NHK オンラインを中心とし、LINE、Twitter など多様な SNS でもデジタルサービスを展開。日常の生活の中でも被災状況を体感していただきます。

ドラマ「パラレル東京」

制作決定のお知らせ

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震…。平成以降、計5回もの震度7を経験した災害列島・日本。次の脅威として懸念される一つが、30年以内に70%の確率で発生するとされる「首都直下地震」です。

ドラマ「パラレル東京」は、首都直下地震に襲われた東京の架空のテレビ局で働くニュースチームの闘いを、発災直後から4日間にわたり、リアルタイムで描いていきます。内閣府がまとめた被害想定に最新の研究成果を加え、被災した東京の姿をVFXで完全映像化。翻弄され続ける主人公たちの姿を通じ、迫り来る首都直下地震の実態を視聴者も体感できるドラマとして、お届けします。

主演：小芝風花さん



<コメント>

世界の各地で自然災害が起こる今、「パラレル東京」のお話をいただき、感慨深い思いでいっぱいです。私が台本を読んだ時、「こんな事が実際に起こるのか」と恐怖で涙が出ました。台本を読んで、一番頭に残ったのは、“地震が起こる前に戻れたら…”という台詞です。あの時もっと考えておけばよかった、知識さえあればなどと後悔しないよう、この作品を見て一緒に考えて頂けたらなと思います。



写真) 初のアナウンサー役に向けて、アナウンスレッスンやニュースセンター見学など、準備を進めている。

【放送予定】 2019年12月2日(月)午後7時30分、3日(火)～5日(木)午後10時
NHKスペシャル「体感・首都直下地震 DAY1～DAY4」(仮)内で公開<4夜連続>

【脚本】 成瀬活雄

【出演】 小芝風花、高橋克典、伊藤淳史、室井滋 ほか

【制作統括】 松岡大介、井手真也、日置一太

【演出】 石塚嘉

【収録期間】 2019年9月～10月

【あらすじ】

アナウンサーの倉石美香(26)(小芝風花)は入局4年目。午後10時放送の「ナイトニュース」のスポーツコーナーを担当するサブキャスターだ。2019年12月2日午後4時4分、東京23区を震源とするマグニチュード7.3の大地震が発生。メインキャスターが地震に巻き込まれ行方不明となったため、美香はニュースの編集長である江口繁之(49)(高橋克典)に自分が伝えたいと志願する。同時多発火災、ビル倒壊、大停電、広域での通信ダウン…。大混乱のニュースセンターで、未曾有の被害を伝え続ける中、中継に出た同僚が火災に巻き込まれ、自分の妹との連絡も途絶えてしまう。首都東京は、日本は、一体どうなってしまうのか…。